

### 第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会会議録（要録）

期 日 令和8年3月26日（木） 開会 午前 10時00分

閉会 午前 11時21分

会 場 議会棟第三委員会室

出席委員 青木 和浩委員、押尾 豊幸委員、石渡 美香委員、  
齊藤 太郎委員、辻 太一郎委員、志田 宗人委員、緑川 義徳委員、  
宮崎 由美子委員、松丸 晴久委員、遊佐 憲司委員、  
舎人 樹央委員、山本 健太委員

オブザーバー 千葉県部活動地域移行総括コーディネーター 濱谷 昌人 氏

傍 聴 人 2名

事 務 局 指 導 課 松原 和弘、小林 亜也子、御堂 恵

社会教育課 岩橋 一樹

教育総務課 伊藤 浩司

## 1 開会

### 【司会（松原）】

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より令和7年度第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会を開催させていただきます。しばらくの間、進行を務めます指導課の松原でございます。本日の出席委員は12名で、委員の過半数を超えており、会議は成立しますので、このまま進行を進めます。

本日の会議には、3名の方が傍聴に来られております。傍聴の皆様におかれましては、お手元の傍聴要領に従いまして、ご協力のほどよろしく願いいたします。

最初に、配付資料の確認をいたします。本日配付している資料は、

- ・ 会議次第
- ・ 休日地域クラブSAKURA推進計画
- ・ 推進計画の概要版
- ・ オークス作成資料
- ・ 来年度の予定についての資料

以上、5点になります。不足などございませんでしょうか。

次に、本日の会議の議事録を作成するため、会議の内容の録音と、会場風景の写真撮影を行わせていただきますので、予めご了承ください。

それでは、本検討会の設置要綱第6条の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願いいたします。

### 【議長】

本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本会議が本年度最後の検討会となります。この検討会では、こどもたちの継続的な活動の場の確保、それから教員の負担軽減ということを目的に検討を進めて参りました。皆様のご協力もありまして、この一年間で多くのことを決定

することができました。まず運動部の休日活動において、3年生が部活動を引退して新チームとなる8月から、すべて地域展開となります。また、受益者負担の額、その根拠についても整理することができました。また本日の報告いたしますが、活動地域展開を推進するための指針であります、『休日地域クラブSAKURA推進計画』、こちらも策定することができました。

本日は会議の最後に各委員の皆様から、次年度に向けてのご意見や今後期待する点などをお話いただく時間も設けておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 議事

### 【議長】

それでは、次第に沿って進めてまいります。本日の議題は3点ございます。

最初に、「部活動地域展開推進計画の策定」について、事務局から説明をお願いします。

### (事務局説明)

### 【議長】

ただ今、事務局から推進計画の策定について経緯の報告がございました。最終的な計画の内容などを含め、何かご質問があればお願いします。

### 【委員】

令和8年度については、これまで以上に指導者の確保が必要となると思われます。教職員で兼職兼業を希望している人数について、30ページによると、従事したいと希望するのが17名、勤務条件、報酬によって検討したいとするのが53名ということで、報酬については非常に大きいとは思いますが、それ以外の勤務条件というのは、どのようなものがあり、どのようにとらえているかお伺います。

## 【事務局】

勤務の条件については、先生方が、自分の得意な種目、または経験ある種目が指導できるのか、という点が一番大きな条件になってくるのではと思っております。また、教える場所、時間等々についても、この条件というところに当てはまるのではないかと考えております。また、このアンケートを実施した当時、報酬が決定しておりませんでしたので、報酬によってはと考えた先生方が多かったのではと分析しております。

## 【委員】

今、会費と指導者の質ということで説明があったので、その件で伺います。まず会費についてですが、そもそもこの支払い先はどこになるのかということと、課税対象事業だとしたら、消費税等が含まれているものなののでしょうか。あとは年間登録料5,000円と月会費、この月会費については前回の会議でも伺いましたが、おそらく節目は年度になってくるのかと思います。実質2年生・3年生と一年間で2回年間登録料を納めるのではないかとということで、たった半年弱で、また3月末にもう一回支払いということで、混乱を生じたりしないかなというのは、私自身、今まさにクラブの年度更新で、保険料や陸連登録料を納めていて、立て替えている部分と、会費の方は消費税を納めているので、それが気になりました。

それからあと一つ、指導者の質について、今までは先生方にサービスというような形でやっていただいた中で、会費を納めて習う上で、誰に習うかというのは、とても大事になってくると思います。その場合に選ぶ根拠として、ただ、名前と年齢だけが書かれているのではなくて、学歴や指導キャリアなど、どういった人が教えるのかというのが、親としては判断の根拠になってくるので、個人情報とバッティングするのかもしれませんが、公開されるべきではないかということをお私は思います。

### 【事務局】

まず、月会費等々の支払い先は市になります。一旦は事業者に収納は委託をしますが、佐倉市に入ってくる収入となりますので、課税対象になるとは考えておりません。

年間登録料については、まず4月から7月分については引き続き実証事業扱いとしますので、この時点においてはまだ年間登録料はいただくことはございません。8月からの活動に関して年間登録料を、新しい2年生と1年生からいただく予定になっています。

### 【委員】

令和9年度はわかりませんが、今年度は半分の期間になっています。来年のこの時期に年間で収めるとなると、その先は一年周期になると思いますが、今年は2回ですよ。実質、2年生が、この時期までやってさらに引退まで、引退があるのかどうかわかりませんが、実質一年間、この8月から来年の7月あたりまで一年間なはずなのに、登録料が2回ということになるのでしょうかという質問です。

### 【事務局】

年度ごとの登録料と考えておまして、また、ご存じだと思いますが、例えば、保険料等が、途中から加入したとしても、一年に捉えられてしまう状況がございますので、基本的には年度ごとに同じ金額をいただいでいく予定で考えております。

### 【委員】

この辺りが本当に混乱を招き、「また」と言われると思います。事前に説明しておかないと、ということと、私どもも、スポーツ安全保険など年会費をいただいでいますけれども、この年明け、1・2・3月は、そういう理由で足踏みしてしまわれる新規入会の方は実際いらっしゃいます。個別の対応はしていま

すが、そういうわけにはいかないと思いますので、事前の説明がなされるべきかと思いました。

#### 【事務局】

ありがとうございます。保護者の方にも丁寧に説明をして、ご理解いただきながら進めていきたいと思います。

指導者の質について、どういった方が教えてくれるのかというのは、とても不安になるポイントだとは思っています。そのために、教えてくださる方のプロフィール等、指導経験やキャリアについてお示しした上で、皆さんにご判断いただこうと思っております。

#### 【委員】

当然私は陸上専門で、岩名競技場を陸上クラブが使えると思うのですが、施設使用料については、当日現金等で、この中（会費）には含まれていないと思います。岩名については、8時半開場ですが8時半にはとても入れません。まず、30分前ぐらいから色々な先生方が並ばれていて、開きました、申請しました、お金を納めました、中で利用できる、というので並んでらっしゃって、50人規模の団体等は保護者の方が小銭で支払っているなど、本当に大変そうですし、そういうのも含めると、指導に3時間集中できるのかとか、公共施設の理解などの細かい部分、受益者負担で見えていない部分があったりするかなと思います。現金で子どもたちが持ってきて、先生が集めてということだとしたら、それだけで開始時間が遅れてしまって、中には先に外でウォーミングアップを子どもたちにさせておいて、先生たちは手続きをしていたり、時間をずらして来場したりする、そんなことを思い起こしました。

#### 【事務局】

実状を踏まえて、指導される方が3時間の指導に集中できるように、また子どもたちも3時間きちんと指導が受けられるような環境を整えていきたいと

は思っております。個別の事象については、大変貴重なご意見をいただきましたので、参考にしながら、種目ごとに色々あるかとは思いますが、一つひとつ解決しながら進めていきたいと思っております。

**【委員】**

推進計画の9ページ、参考4に参加生徒の満足度が年度別で掲載されていますが、年度を追うごとに不満・どちらかといえば不満を選択する率が、徐々に増えているように思います。事務局として、この数字をどのように分析されているのかお伺いできればと思います。

**【事務局】**

不満、どちらかといえば不満を選択した方の自由意見を見る限り、もっと練習時間を取って欲しいというようなご意見が非常に多くございました。ある意味、地域展開の指導についてご理解はいただいているのかなと考えています。また、令和7年度からいくつかのクラブ、これはごく一部ですが、近隣の学校同士が合併することによって、活動場所が変わってしまって、ちょっと遠くなってしまったというような不安があるのではないかと考えています。

**【議長】**

続きまして、今年度の取り組み状況について、事務局から説明をお願いします。

(オークスベストフィットネス説明)

**【議長】**

ただ今、今年度の取り組み状況について事務局から説明がありました。ご質問などございましたらお願いします。

【委員】

指導員で、兼職兼業の方が11クラブ中6クラブにいらっしゃいますが、自分の勤めている学校以外の方はいらっしゃるのでしょうか。

【オックス】

2名いらっしゃいます。小学校教諭1名、他市の教諭1名です。

【議長】

続いて来年度の予定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

【議長】

ただ今、来年度事業について説明がございました。ご意見・ご質問などありましたらお願いいたします。

【委員】

会費や指導者の指導力とは別に、開催判断などマネジメント力が求められると思います。4,000円ということで、おそらく4週間、月4回という計算で、一回当たり1,000円という感覚だと思っています。今まで部活動がどうだったかとかはわからないのですが、これから梅雨が来て雨でとか、お盆、年末年始、あとは学校とは離れるということですけど、テスト期間中とかがあると思います。そういう時に、「不足分を補っていただけるのでしょうか」という質問が必ず来たり、どのこどもたちを教えているお稽古ごとでも、振替などしたりしてらっしゃると思うので、そういう意見が出てくると思います。

一番私が心配なのは、7、8、9月あたり猛暑で、陸上競技等、普通の時間帯ではとてもできない。その間どうされるのかというところなんです。例えば、去年で言うと、少年野球が、ルールで統一しており、この気温を超えたら試合が

できないという中で、結局、全国大会なのに一回も打席に立てずに監督のジャンケンで勝敗がついたということがありましたが、そういうことが出てきたときに、会費って返せるものではないと思います。月4回ということにかなり縛られてきて、いろいろ出てくるのではないかという気がします。私たちは一般ランナーだったりするので、朝早く6時集合でやったりもしますが、たぶんご家庭の理解が得られないと思いますので、ではその間、休会で会費を納めませんということが許されるのかとか、そういう意見がきっと出てくるのではないかとはい思います。

あともう一つ、受益者負担について、今まで11クラブでやっていたところ、急に88ということで、試験運転がなされないまま急に始まることになります。そのときに、5,000円というのはかなりハードルが高かったり、兄弟がいたりしたら猶更なのかなと思うのですが、そこでもうちょっと譲歩というか、多分、見てから決めたいというような意見もあったりしてくる中で、何かできないでしょうか。初月無料とか、金額下げてとか、どこもやっていると思いますが、そういう形の方が、最終的には多くの方に選んでいただけたらと思います。いきなりだと、ハードルが高くて、他を見てからとか、4月から始めますとか、そういうことになると思います。また、次の4月、1年生が入ってきたときにも、やはりいきなり4月1日から入会ではなく、おそらく試験期間があって学校に慣れた後で、クラブやってみようかという、結構ばらついた入会が出てくると思うので、入りやすく、でも事故への保証がされていないと、とは思いますが、登録料を納めてから参加するというのではなくて、もうちょっとステップが刻まれた方が入会しやすいのではという気がします。

#### 【事務局】

まず、9月頭で暑くて、というお話でしたが、基本的には、年間の回数は守っていただくように進めていきます。ただ、部活動ガイドラインというのがございまして、例えば、土日両方とも活動すると制限がかかってしまうことがありますので、土日両方やらないと年間の回数が達成できないという場合は、平

日の活動を休みにするなど、柔軟に対応したいと考えています。

また、試験期間をとというような、非常に参考になるご意見でした。今後検討を進めていきたいと思えます。

### 【委員】

今、お話があった準備期間について、今までやっていたクラブチームはいいと思うのですが、これから始まる残りの71クラブがいきなり8月から開始という形ですと、やはり理解も進まないでしょうし、本来ならば、1年とか2年、準備期間を置いて、これはまた市の負担になるのかどうかわかりませんし、委員会の承認が必要になるのですが、ある程度市で負担して、2年くらいは猶予期間を持って、実行に移していった方が、理解は進むのではないかと思います。

それともう一点、クラブチームの中で、教員の方が指導で入っているクラブはいいと思うのですが、兼職の方がいらっしやらない、一般の指導員だけのクラブチームが当然多くなると思えます。全体的に考えて、学校の先生の関わりがない。働き方の改革なので、そういう方向なのでしょうが、余りにも学校側の、関与がなさすぎるニュアンスがある。競技を教えることについては指導員の方に委託してもいいのでしょうか、全体的に管理というか、学校としての責任、例えば巡回の人は、交代でもいいから、先生が少しでも関与するなどあるのではないかと。こどもを指導するのに学校の関与があまりにも無さすぎる印象がちょっとある。アンケートの中で、関わりたくない人が100人くらいだったから、そうなのかなとは思いますが、でもちょっと考えてもらいたい。学校側としての、責任じゃないけれども、先生方の意識を変えていただければなと思えます。ちょっと難しい話ですが。

### 【事務局】

ご意見の内容は、非常によくわかります。先生方の意識という部分に関して、もうここ数年、結構長い年月をかけて徐々に徐々に、部活動ということに

対しての意識については変わってきたように肌感で私は思っています。私自身、教員時代は、年間ほとんどの日数、部活に熱を入れていた教員の1人でありました。ですが、私達よりも、もっとずっと下の世代の先生にとっては、それが負担だったり、非常に苦しかったり、ストレスになったりというようなことも実はあります。そうした中で、国が打ち出しているもの、そして県が、そして我々が今進めるのは、休日の部活動について、クラブ化していくというような流れで、令和5年からずっと進めて参りました。平日の部活は残りますが、休日の活動については、地域に委ねることによって、こどもたちも、先生たちも、教えたいたりの地域の大人たちも、みんながうまくいくような、そんな仕組みを今、頑張っているところでございます。

何とか皆さんにご理解いただけるように、説明会等を複数回用意していく予定ですが、とにかくご理解をいただくように努力してまいります。

#### 【議長】

いただいたご意見も検討して、プロジェクトを進めていただければと思います。

#### 【委員】

資料4ページの設立予定クラブ一覧について、生徒の要望の高いクラブを新設予定ということですが、例えば最低何名くらいの要望があったら設立する予定など、設立に向けての基準があるのかということと、クラブの設立が最終的に確定するのはいつ頃の予定になるか、お聞かせいただきたい。

#### 【事務局】

基準につきましては、現時点では、まだ確定しておりません。今後、業者等ともいろいろと詰めて検討していきたいと思っていますところでは。

また、設立がいつごろ確定するのかという点につきましては、5月ごろ、ゴールデンウィーク前後に、新1年生の部活動の入部が確定する時期になってお

りますので、その後に、休日地域クラブ 8 月以降の参加意向を調査する予定で  
ございます。その調査の結果に伴いまして、設立クラブの具体的な数というの  
が決まってくると考えております。

#### 【委員】

吹奏楽の方でお聞きしたいのですが、先ほど、セキュリティの都合や学校職  
員の不在、楽器の運搬等、色々課題点が挙げられたのですが、文化系部活動の  
休日地域移行の取り組みを、最終的にいつ頃を目標にしているのかということ、  
顧問をサポートする指導員について、どのような方が派遣されるのかというこ  
とと、吹奏楽は受益者負担あるのかというところをお聞かせいただきたい。

#### 【事務局】

できるだけ早くというふうには考えております。ただちょっとやってみない  
とわからないところもございますので、いつからということ、この場では申  
し上げられませんが、できるだけ早くやっていけるよう努力をして参りたいと  
思います。

また、サポートする指導員につきましては、今後事業者等とも検討は進めて  
いこうと思いますが、やはり地域の経験された、指導ができる方と考えており  
ます。ただ、吹奏楽部については、打楽器であるとか、金管、木管いろいろあ  
り、教えられる楽器についてもいろいろあると思います。また、先生方の考え  
もあると思いますので、しっかりと話し合いのもと、こどもたちに還元される  
ような形を考えているところです。

受益者負担については支払いなしということで考えております。

#### 【議長】

皆様ありがとうございました。本日は今年度最後の会議となりました。また、  
来年度からは、ついに全ての運動部活動の休日移行に着手する、大きな節目と  
なります。つきましては、来年度事業に向けて、期待することや、気を付けて

進めてほしい点など、各委員からコメントしていただければと思います。

【委員】

保護者の方にご理解をいただくのは大切ですから、説明をしっかりとさせていただきたい。

【委員】

吹奏楽の話もありましたが、私が出でた会合では、文化系とバドミントンなど、学校と兼ねてスポーツをする、そういう人たちは1つに縛られない、2つ選んでもいいのかというような質問があったりしましたが、子どもたちがなりたい、例えばスポーツが好きになりたいとか、楽しみたいとか、仲間との交流ということ重視のプランだと思うので、規模が大きくなって、ルールは大切かもしれませんが、個別の思いを汲んでいただきたい、人間味ある進め方をさせていただきたいと思います。

【委員】

先ほど生徒の満足度の分析の話の中で、練習場所が遠くなってしまって、そのことによる不満が増えているのではという話がありましたが、8月以降そのような声がどうしても増えてしまうのではと懸念しているところです。そのような声に対しても、丁寧に対応していただければと思っております。

【委員】

地域展開でスポーツをやるこどもが減らないような形で、丁寧に進めていただければと思います。

【委員】

きっかけが少子化だったり、教員の方の働き方改革だったりとありましたが、やはり、部活動を行うこどもたちが、参加したいと思えるものを見つけられる

機会になってもらいたいということと、そこになるべく制限がかからず、自分たちが参加したいもの、また種目数が増えても、参加できる機会ができればと思っています。

#### 【委員】

担当課になりますので、まずは、貴重なご意見をちょうだいし、ありがとうございます。また、オークスさんにも、実証期間ではありますが、たくさん連携を図っていただきながら、丁寧に事業を進めていただきましたこと、感謝しております。来年度に向けてということですが、本格実施が始まりますので、これまで学校部活動が担ってきた意義の中で、何を継承していかなければならないのかというところと、全く新しい枠組みの地域展開で得られる価値というものを整理していかなければならないと考えています。また、先ほどありましたような、種目ごとの課題については、その都度たくさん出てくると考えております。生徒にとってどのような形にしていくのがベストかという視点を大切にして、関係する皆さんで考えてよりよい形を作っていかなければと考えております。引き続きご支援をいただければと思います。お願いいたします。

#### 【委員】

教育現場では、すべてのこどもたちのためにという言葉がありますけれども、私は立場上、教職員の負担軽減というのが気になっているところです。その他の市町でも今、中学校の教員で部活動の顧問を外して欲しいというのが7割近くいるということも聞いたことがあり、やはり在校等時間、それも休日の時間が結構多くて、それがなくなることによって少し軽減になるのでは、と私は思っていて、こどもたちのためにも、教職員のためにも、いろんな課題があるけれど、進めていただければと思います。

#### 【委員】

一年間ありがとうございました。8月から、新たな取り組みが始まるという

ことで、新たな課題ですとか、調整が必要なことが多くなってくるとは思いますが、やはり、部活動を通しての教育的効果がすごくあると思います。一番はこどもたちのために、ということが最優先で、あとは教員の負担軽減ということも課題としてあるとは思いますが、何で地域移行になったかという趣旨をきちんと理解した上で、先生方もこどもたちも含めて、良い方向に進んでいただければと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

#### 【委員】

教員の働き方改革という視点で言うと、この取り組みは本当にありがたいです。新聞等でも報道されておりますけれども、教員がいつ倒れるかという、本当に、本当に大げさじゃなく、本当にその状況です。今日も「全員来てくれてありがとう」と、私は毎日そう願っているところです。この取り組みで、教員の負担が少しでも減れば、それが同時に、こどもたちのプラスになるということです。今までなかったことを推進していくことは非常にエネルギーが必要であったと思います。そういう意味で、皆さんに本当に心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。

#### 【委員】

今年度こちらの会議に参加させていただきまして、部活動の地域移行について活発的に進んでいるということに、すごく心強く感じております。また来年度につきましても、こどもたちの安全と意欲的な活動の場を提供していけるように、熱い話し合いを期待しております。今後ともよろしく願いいたします。

#### 【副会長】

この部活動地域移行については、急に降って湧いた話ではないのですが、行政、教育行政の中では急に降って湧いたような話が出てきたということで、県として推進計画というものをこの年度内にまずは作りましょう、ということで、佐倉市は今日ご報告ありましたように、大変すばらしい推進計画が完成できた

ということに対しては、一つの大きなハードルは越えたのではないかと考えております。そういった意味では、市の皆様、関係の皆様、そしてこの実証事業に非常に細かく丁寧にやっていただきましたオークスさんのご尽力については、本当に感謝申し上げるものなのではないかなと考えております。この実証事業がなければ、今日の議論は全くないわけで、これがあったから今日の議論ができて、かつ、実証事業の中ではネガティブな話というのはほとんどなかったというところに関しては、こどもたちの成長を第一に優先しながらも、また教員の働き方改革というものも担保しながら、いい事業ができたかというふうに考えております。

ここから先が実は本当に大変だというのは間違いありません。ここから先が大変だというのは、今日参加された方々すべての感想だと思っています。どうしても私も含めて、中学時代というのは、中学校の先生が部活で一生懸命頑張ってくれて、家庭も顧みず一生懸命やってくれて、そういったところがあったというのがベースの時代から、新しい中学校の部活動のあり方というものに変わっていくということは、これはもう紛れもない事実ですので、我々はその事実を受け入れながら、教員もこどもたちの、きちんと無理のないように進めていくということが大事かと思えます。難しいですが、ただ、今の取り組みの中では、今日の議論でもありましたけども、市の採用のものもあれば、県で決められることもありますし、国で決められることもありますし、我々がこうしたいと言っても、それは国で決まってなければ、制度というのは成り立たないというところがあるので、そういった部分と、あともう一つは、多分今日議論にはありませんでしたが、やはり中体連の関係での試合の出場、こういったところの関係性、それから小中体連の種目ごとの専門部との兼ね合い、結果的にそのすべてがマッチをしてこないといけない。中学生がこのクラブに行っても、この試合に出たいけれども、いやだめだったということがないようにすることが大事かと思えます。

そういった意味では、市でできること、それから行政でできることが限られていると思えますけれども、一つ大切なことは、やはり市側が少しでもこども

たちや保護者、そして、教員に寄り添えるような形でサポートできるような体制が必要だと思っております。

多分一番難しいのは、指導者の確保だと思います。実際、私どもの大学にもオークスさんに来ていただいて、募集もかけています。学生も土日に試合があったりするので難しいですが、先ほどちょっとお話がありましたが、何名かの学生が登録しております。その登録している学生に聞くと、例えば小さい頃、実は佐倉市出身で、先生と出会えて、今、私がこの部活動をやっているから、何か自分の中で市の方に恩返しができたら、なんていうような、そういう思いを持っている学生はたくさんいまして、部活をやりながらでも、少しでも貢献できればということで、純粹にやっている学生たちもいます。

そう考えますと、おそらくこの部活動地域移行というのは、これまでは学校教育の中でやっていましたが、地域で育てるということで、佐倉市に愛着というか、愛情を持って接していただいて、佐倉市のこどもたちの健康やスポーツを向上させたいなというふうに思っていただけのような方々を、この指導員として派遣するということが、おそらく一番良いのではと思いますし、最終的にやはり自走していくような形になっていく事業ですので、佐倉市ならではの取り組みというか、佐倉市で育てる、地域で育てるというような情勢ができてくるといいかなと思います。おそらく兼職兼業の中でも、佐倉市で勤務された方が他の市に行って、佐倉市のこどもたちにやろうとか、小学校や特別支援学校の先生方でクラブ活動に興味ある方が一定層いると思いますので、そういった方々にも声掛けをしていただければというふうに思っております。

あと、計画は計画ですけれども、先ほど委員からもいろいろ話がありましたが、不明なことはもうきりが無いのは間違いないので、おそらくこういうのが出たときに、例えばオークスさんの窓口の電話がパンクするのではないかとというぐらいに、たくさんわからないことはあると思うので、世の中は結構成功事例を発信する傾向にありますが、我々の内部資料としては、失敗事例ではないですけれども、こういったところのエラーは、こういうところで解決できるねというような、ある程度失敗した事例の中で、どういうふうに対応、対処した

のかということについてのデータも蓄積しておくといいと思います。

国のホームページを見ると、成功事例があって、成功事例は成功事例で良いのですが、実際に実証した中で、失敗って言っちゃいけないのかもしれませんが、やはりある程度トラブルになっていることは、幾つかあると思います。例えば保険の話とか、保険の加入の手続きの話とか、いろんなところがあると思いますので、そういったところもきちんと担保しながら、一步一步着実に進めていただきたいと思います。

あと学校様には、お願いしなきゃいけないことがたくさんあるとは思いますが、一番はやはりセキュリティの問題です。場所を借りる・借りない、移動する・移動しないというのは、だんだんとシステムをきちんと作って行って、変な話じゃないですけども、校長先生が土曜日も在校して、見てなきゃいけないみたいなことにはならないように、そのあたりのことは優先していただきたいと思いますし、この部活動地域移行に関しては、ある程度、市の競技場の使用や手続きなど、そういったところでは少しプライオリティをつけてあげてもいいのかなと、個人的には思う次第です。

以上になりますが、いよいよ次の年度で本当にスタートになるので、この辺りは臨機応変という言葉が適切かどうかは、時には立ち上がることも必要かなと思いますので、ぜひ一步一步、確実に進めて行っていただきたいと思います。

#### 【議長】

それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。事務局はご意見を踏まえながら、慎重かつ着実に事務を進めていくようお願いします。

それでは、本日予定していた議事は以上になりますので、進行を事務局にお返しします。

### 3 閉会

#### 【司会】

本日も誠にありがとうございました。最後に、私の方から来年度の検討会開

催予定など大まかなスケジュールを説明させていただきます。

会議資料でも説明しました通り、令和8年8月から全ての運動部活動の地域展開が実施されることに伴いまして、展開後の状況報告として、9月から10月頃に一度協議会を開催したいと考えております。また、年度末にも一年間の総括をご報告する場として、協議会を開催する予定でおります。委員の皆様には、引き続き、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、令和7年度第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会を閉会いたします。皆様、議事進行へのご協力、ありがとうございました。